

# 収蔵考古資料展「都留市の先人たち」

都留市は今年、市制50周年を迎えますが、50年前と現在の都留市では町並みも変わり、全くと言っていいほど姿が異なります。さて、500年前、5000年前の都留市がどのような所で、人々がどのような生活をしていたか皆さんは想像ができますか？500年前ならともかく、それよりもずっと昔のことは、文字の記録もありません。では、どうやって歴史を調べるのでしょうか？答えは遺跡の発掘調査です。発掘された土器や竪穴住居の跡などの資料を考古学的に研究して行くことで大昔の歴史を調べる手掛かりがつかめるのです。例えば、土器や石器から都留市の先人たちの使っていた道具がどのようなもので、どんな生活をしていたのかが分かります。

収蔵考古資料展「都留市の先人たち」では、数多い都留市の遺跡から発掘された土器や石器などを展示し、昔の人々の暮らしを考えていきます。旧石器時代から平安時代までの都留市の歴史にふれて皆さんも楽しみましょう！



「深鉢形土器」  
中溝遺跡



「耳飾りをつけた土偶」  
中谷遺跡

会期	1月10日(日)～2月29日(日)
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
休館日	毎週月曜日・第3火曜日・祝日の翌日
観覧料金	
一般	300円(210円)
高校・大学生	200円(140円)
小・中学生	100円(70円)
	( )内は20名以上の団体料金です。
※ミュージアム都留と増田誠美術館は、共通観覧料です。	

## 開催期間中のイベント

- 「広告紙でカゴを編もう！」  
日時 平成16年1月25日(日) 午後1時30～  
内容 カゴを編んで、コースターや小物入れをみんなで作りましょう！
  - 「<sup>まがたま</sup>勾玉を作ろう！」  
日時 平成16年2月8日(日) 午後1時30分～  
内容 ろう石で勾玉を作ってアクセサリにしたり、携帯ストラップやキーホルダーにつけましょう！
  - 「<sup>どぐろ</sup>土偶づくり教室」  
日時 平成16年2月15日(日) 午後1時30分～  
内容 紙粘土を使って、自分だけの土偶を作りましょう！
- 定員 30名  
参加費 100円  
※事前に申し込みが必要です。

増田誠画伯は、大正9年(1920年)5月24日に旧谷村町下谷に生まれ、谷村尋常高等小学校、旧制都留中学校(現・都留高校)を卒業。その後兵役をすませ北海道釧路市に移り、光工芸社を設立し、看板業を営むかたわら、帝展画家上野山清貢先生に師事され、また、一線美術会に所属し、数々の賞を受賞されました。昭和32年(1957年)7月28日満37歳で単身渡仏され、以降32年間パリを拠点として、意欲的な創作を行い、人間味溢れる独特の画風を確立されました。この間フランス国内の様々な賞を受賞され、サロン・ドートヌブ会員、サロン・ナショナル・デ・ボザール会員、ル・サロン無鑑査など国際的画家として不動の地位を確立されました。

国内展で代表的なものは、昭和45年から通算15回開催された小田急百貨店での個展です。

画伯の意欲的な創作活動は、平成元年(1989年)4月9日68歳で亡くなる直前まで続けられ「ふるさと」を描いた作品をもって終了されております。

パリの実生活32年間より育まれました増田芸術の古き良き時代の面影を留める作品をごゆっくりご鑑賞いただき、人間味溢れる画伯の作品を、十分に味わっていただければ幸いです。



**増田誠美術館企画展 「増田画伯の作品 市民収蔵展」開催中**

増田誠美術館は、芸術・文化の向上に永年貢献された増田誠画伯(都留市名誉市民第1号)の業績を顕彰するとともに、生涯学習の場として活用していただくことを目的として開館いたしております。

現在、増田誠画伯の作品(油彩画)などを所蔵されております市民の皆様方の作品を借用いたしまして、「増田画伯の作品 市民収蔵展」を開催いたしております。

普段観ることのできない、画伯の作品を是非、この機会にご観覧ください。

開催期間 3月21日(日)まで

問合先 都留市博物館 「ミュージアム都留」 ☎(45)8008/☎(45)8608  
分館増田誠美術館(ふるさと会館2階) ☎(45)4111